



冬間近を実感する毎日となって参りました。
今年もインフルエンザの流行が懸念されております。
イベントなどの人混みの中では、何時うつされるか分かりませんので、
皆様も職場や家庭での毎日の手洗い・うがいで予防をしっかりと行って下さい。
さて、今回は“SK-3”（炭素工具鋼）の鋼種についてほんの少しですがお
知らせさせていただきます。ご休憩の合間にも目を通して頂ければと思っております。
（塚原）



鋼種 Q & A

～ SK-3 について ～



★社長のワンポイント★

本格的な冬間近となり、時の経つこと年々とても早く感じるようになりました。皆様に情報提供ということで始めました、「鋼魂」ですが皆さんのお役に立てているでしょうか？是非営業担当またはお電話等で感想など、お知らせいただけると有り難いです。よろしく願いいたします。

さて、今回は特殊鋼メーカーについて少しだけお伝えできればと思います。特殊鋼メーカーとは、鉄スクラップを主に原料として、様々な合金【ニッケル・コバルト・マンガン・リン・シリコン等々】を電気炉で溶解出来るメーカーのことを言います。代表的なメーカーは日立金属(高級特殊鋼)・大同特殊鋼(一般特殊鋼)・愛知製鋼(トヨタ自動車関係材料)・日本高周波鋼業(一般特殊鋼)・特殊製鋼(一般特殊鋼)・三菱製鋼(三菱系列)・東北特殊鋼(大同系列)でありまして、各社各様製造している鋼種が違ってきます。共通しているのは、日本の特殊鋼製錬技術は世界でもトップクラスの技術をもって製造されており、自動車・半導体等々最先端の新素材の提供を行っております。当社では、各社の素材を提供できるルートが確立されております。

技術講習会も定期的に行っており、皆様の会社でも技術アドバイスが必要とありましたら是非伺いまして、お困り事解決をお手伝いいたします。是非ご連絡下さい。

“SK-3”とは、JIS規格（日本工業規格）での呼び名であり、SK=Steel Kogu（スチール工具）の頭文字を取ってSKと表示されています。

SKは製鉄メーカーごとに名称が違っており、【日立=YCS3（SKS93相当）・大同=YK3】などと表示されています。

SKは三大特殊鋼（SK-3・SKS3・SKD11）の一種であり、構造用合金鋼であるS-CやSCMと比べカーボン量が多く、0.6%～1.5%で焼き入れ、焼戻しを行う事で硬度を出せる材料であり、耐摩耗性にも優れています。

（※ 特殊鋼はカーボン量が0.6%以上入っているモノと規定されており、構造用合金鋼と特殊鋼との線引きが0.6%になっています。）

SK-3は黒皮品・研磨品・ゲージ鋼など種類も多く、一般的に知れ渡っている事と、特殊鋼の中では比較的安価であり、焼入れ時HRC60位まで入れられる事で良く使われております。

SK材は耐熱性にやや劣り、発熱性の少ない製品に使われる事が多いです。例えばヤスリ・カミソリ・刃物・刻印・ショット数が少なくプレス圧が低い金型などに良く使われています。



○国中エリア○

半導体関係では一次下請けの受注量が増えた事も有り、二次請け企業まで受注が回っている様子です。組み立て作業については非常に忙しく動いており、来年の夏位までは動いていくのでは？と、言われています。自動車関係では、乗用車・トラック共に動きは好調の様子で、来年春位まで生産計画があるようですが、全体的な県内動向を考えると、まだまだ安心できる状況では無いので、県外からの受注を増やしていく企業様が多くなっているように思えます。

県内の動向

○郡内エリア○

工作機械メーカーでは、比較的仕事量が多くなってきたようですが、部署によっては忙しい所とそうでない所の差があるようです。半導体関係では、一社が忙しいのですが、他の会社では状況的には変わらないのが現状です。その他でも、依然厳しい状況が続いており、数物系も減少傾向となっております。

○上野原エリア○

半導体・自動車関係・エコカー関係の下請け様は忙しい所が多いです。電機関係のお客様も、年内は仕事があるとの話を聞きました。しかし依然として、突発や短納期の仕事が多いです。上野原営業所は県境の為、県外でも比較的忙しいと言われている東京・埼玉・神奈川からの仕事も増えてきているようです。